

1990年 9月10日

<毎月10日発行>

第132号 4頁 200円

定期購読料(送料込み)

半年 1500円、1年 3000円

旗せつき

共産主義者同盟中央機関紙

発行
赤路社

三面……中東・三里塚

四面……ネオ・マルクス主義批判

東京都下谷郵便局私書箱180号
(関西)大阪市港郵便局私書箱40号
郵便振替 東京 9-352128

9・30三里塚現地に総決起し

「即位大典」粉碎へ進撃せよ

日帝の改憲・派兵策動を打ち砕け

アラブ人民と団結し

米帝の軍事侵略と闘おう

＝今秋期におけるわが同盟の任務＝

(一) 戦後支配体制の崩壊を 社会主義世界革命の勝利へ

東欧の民主革命に続くイラクのつたえられた。それと共に、ソクウェイト侵略、そしてこれに対する米帝の東欧に対する支配は解体し、西独の東独に象徴される西独の形成という事態は、米ソ超大国による世界分断支配構造の崩壊が決定的なものとなり、新たな時代が始まっていることを内外に知らしめた。

八〇年代の後半期、没落するソ社帝の立て直し(レソトローカ)を契機に、西側の頭目米帝も衰退する条件下で米ソの「緊張緩和」世界支配の協同局面(マルク体制)が現れ、東欧で民主化運動が噴き出し、社会主義を覆る官僚ブルジョア主義の専制支配が次々とブルジョア民主主義の政権へと



(上) 米本土から中東へ侵略出動するM1戦車、
も後方出撃拠点としてフル回転している(沖繩)



(下) 在日米軍基地

一統と自由、社会主義)を優劣する民族ブルジョア政権である。この政権は、国際的にはソ社帝を後継として、王制打倒の人民運動を支持し、パレスチナ人民の反米・反シオニズム闘争を支援してきた。しかし、八〇年代に、ホメイニ朝を打倒し、王制・共和制を問わないアラブの連帯へと変質する「アラブの大義」を穿ち始めるや、これの対立を深め、ペルシヤ湾への出口の獲得を狙った領土拡張戦争に際して出たのである。この事件は、東欧で起ったことがほんの始まりにすぎないこと、事拡げられていくことを恐れたソ社帝が「社会主義に対する資本主義の勝利」ではなく、帝國主義・社会主義の世界支配体制の崩壊の序曲であったことを、誰の目にも明らかになっていくにちがいない。

この事件は、東欧で起ったことがほんの始まりにすぎないこと、事拡げられていくことを恐れたソ社帝が「社会主義に対する資本主義の勝利」ではなく、帝國主義・社会主義の世界支配体制の崩壊の序曲であったことを、誰の目にも明らかになっていくにちがいない。

中東の戦いは第一に、米帝を敗北の事態へと引きずり込むにちがいない。なぜなら、イスラエルを支持する異教徒二十万の米軍が、イスラム教の「聖地」に土足で上がり込み、「聖地」の守護者・サウジアラビア人民の民族的・宗教的感情を逆なでするのであり、腐れ切った米帝の支配の最後の「正当性」を剥ぎ取り、米軍投入の強盗的政治目的を露わにし、イラクの民族ブルジョア政権を打ち倒すアラブ・パレスチナ民族と米帝の対決を促すことになるからである。

第二に、帝國主義の不均等発展を加速し、国際反革命支配体制における米帝の統率力を大いに弱め、その再編が不可避になるにちがいない。米帝は既に、米軍の戦費さえ、日・独・サウジなどに相当程度分担せねばならぬやうに窮乏である。他方日・独は、米帝の対

アラブ侵略戦争に連・東欧・中国への世界市場の広がりの中で、米帝の背後にあつて経済的支配力を加速的に高め、同時に「貢献」策を本格的に展開する。米帝と米帝を切り開き、世界市場でも米帝と対立する米帝を打ち倒す。二階級の対立は尖鋭化せずにはない。

現在わが国の政治を主導しているのは、日帝金融独占とその国家及び、米帝である。米帝は、わが国の急激な帝國主義的發展をアジアの非他勢力圏形成へと向かわせるのではなく、増大するその傾向を統制しつつ、米帝を中心とした帝國主義的國際分業の発展を高度化する方向にさせようとしている(日米構造協議・コメの自由化等)。それは、増大する方向に、資本が現代の巨大化して、その事は同時に、日共現代修正主義・社会主義から根絶的に排斥することを、革命党派に求めている。

我々は、テロリズムと狂民追随の両極に引き裂かれ分断と混乱の極にある革命勢力の統一を、帝國主義の政治支配と真向から対決するプロレタリア下層の人民の進軍に依拠し、日帝打倒・米帝一掃を目指して正統の政闘を建設していく方向に、闘いを取らねばならない。その要は、言までもなく第一の革命的労働者党の創建である。マルクス・レーニン主義の現代の発展を理論的・実践的にかちとることで、プロレタリアの階級闘争の深い後退の中で、巻き返しに勝利する確かなのである。

(二) 第一の攻防環 九・三〇三里塚現地闘争

九〇年代階級政治の攻勢的端緒を闘い取る今秋期政治任務の第一である。

9・30 三里塚現地集會

10・7 アラブ軍事侵略弾劾緊急行動

天皇を押し上げる「即位大典」が予定され、ついで「侵略軍事空港」建設に反対して二十四年間も闘い抜いている三里塚闘争への解体攻撃が再び激化し決定的局面を迎える。まさに敵の側から仕掛けられた「歴史的決戦」の始まりである。

共産主義者は、今日、かつてない困難な地帯から労働者人民の反撃を組織していかねばならない。それは、この敵から仕掛けられた「歴史的決戦」に対する広範な民主主義的反抗を支持し発展させる中で、これに押戻せず、断固として社会主義革命運動を前進させる政治的諸要素へとそれを転化させていくの任務を遂行することである。その事は同時に、日共現代修正主義・社会主義から根絶的に排斥することを、革命党派に求めている。

(二面へ)

(二) 二面より

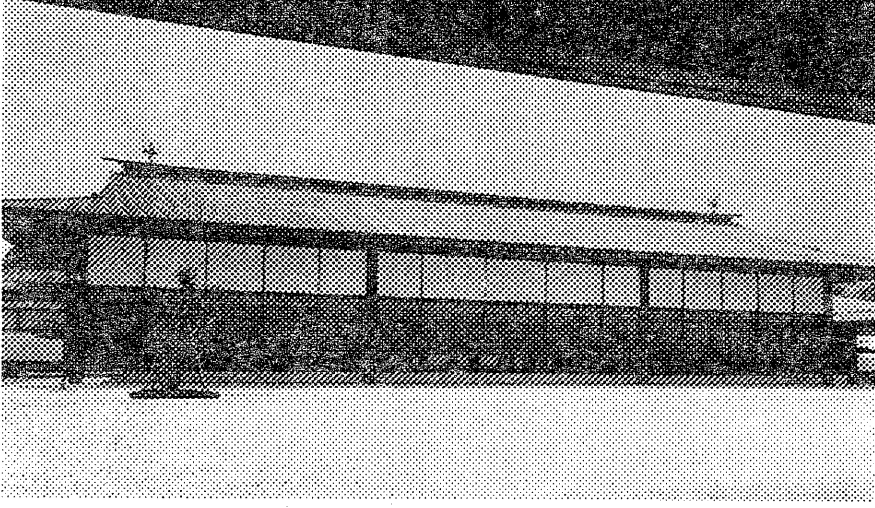
戦後のプロシヤ法権行無視して強制的に展開される三軍... 戦後のプロシヤ法権行無視して強制的に展開される三軍... 戦後のプロシヤ法権行無視して強制的に展開される三軍...

(三) 第二の攻防 即位大典「粉砕闘争」

今秋期第一の、まことに決定的な... 今秋期第一の、まことに決定的な... 今秋期第一の、まことに決定的な...

(四) フアシストの敵対性 皇居進撃戦の一翼を担え

戦後世界支配の解体は、全世界... 戦後世界支配の解体は、全世界... 戦後世界支配の解体は、全世界...



即位儀式が行われる皇居内の建物

立てつてかかれば始められ... 立てつてかかれば始められ... 立てつてかかれば始められ...

(五) 革命党建設こそ九〇年代 階級攻防勝利の鍵

9・30三軍一即即位大典... 9・30三軍一即即位大典... 9・30三軍一即即位大典...

米帝の侵略パターンに大きな変化が生じている。(4)この間米帝主義の不均等発展によるアメリカの凋落も著しく...

その特徴の第一は、西側帝国主義の世界支配のための衝動は衰えを見せなばかりか、断固たるものである点にある。八月一日のイラク侵攻直後、日本政府は他諸国に先駆け経済制裁を決定し、米帝はサウジアラビアへ既に十万人以上を派兵し、米・英・仏は多数の艦艇による海上封鎖を実施し、イラクに対する軍事攻撃体制を短時日の間に形成した...

我々は、アラブ人民の反帝闘争を断固支持し 米日帝国主義と闘う

ペルシヤ湾進軍を検討し、日本は十億ドルの軍事援助を決定し、さらに自衛隊派兵へむけ、改憲、有事立法等々の検討へ進み出した...

米帝の侵略パターンに大きな変化が生じている。この間米帝主義の不均等発展によるアメリカの凋落も著しく...

米帝の侵略パターンに大きな変化が生じている。この間米帝主義の不均等発展によるアメリカの凋落も著しく...

六空整と来年度概算要求 運輸省は、八月四日第六次空軍整備五年計画(六空整九)を閣議決定した...

米帝の対LTC(低強度紛争)戦略の極東軍事支配への関与と、帝の現代版「大東亜共栄圏」づくりをめぐって...

三里塚二期収用阻止 当面する我々の任務

三里塚二期収用阻止の当面する我々の任務。三里塚二期収用阻止の当面する我々の任務...

敵の総力あげた闘争解体攻撃 運輸省(公団)は、このナリタ空港について、二十一ヘクタールを占める未買収地を理由に...

敵の戦略と真向から対決する運動を 敵の当面する戦略は明白である。それは、用地内外の分断・反対同盟間の結束による用地内農民との「切崩し」であり...

敵の戦略と真向から対決する運動を 敵の当面する戦略は明白である。それは、用地内外の分断・反対同盟間の結束による用地内農民との「切崩し」であり...

敵の戦略と真向から対決する運動を 敵の当面する戦略は明白である。それは、用地内外の分断・反対同盟間の結束による用地内農民との「切崩し」であり...

敵の総力あげた闘争解体攻撃 運輸省(公団)は、このナリタ空港について、二十一ヘクタールを占める未買収地を理由に...

敵の戦略と真向から対決する運動を 敵の当面する戦略は明白である。それは、用地内外の分断・反対同盟間の結束による用地内農民との「切崩し」であり...

敵の戦略と真向から対決する運動を 敵の当面する戦略は明白である。それは、用地内外の分断・反対同盟間の結束による用地内農民との「切崩し」であり...

敵の戦略と真向から対決する運動を 敵の当面する戦略は明白である。それは、用地内外の分断・反対同盟間の結束による用地内農民との「切崩し」であり...

ネオ・マルクス主義国家論批判

(6)

山村 信二

方法論的特徴と基本視座
ボブ・ゼンツォは、六〇年代後半の
新左翼学生運動出身で...

国家概念を前提して主権主義的理解を
含むものである。それは「国家は...

合による独自の世界の展開を試みるの
だが、そこでは対象を正しく把握する
ことのできるブルジョア社会学に特徴

シエンツォ理論のブルジョア的
性格
国家論はその転換などという「脇動的

ボブ・ゼンツォの国家理論

彼の国家論上の特徴は、プーラン
ソフ理論の批判的継承を自任して
その「意義と限界」を認めプロセスの中

よって何のたぐいも支配されているのかを
問うのは論的であった。社会関係にお
ける権力は、自己の意を貫徹する可

階級制の抑制と搾取のための新たな手段
となっていく。と云うことである。
そして第二に、それはこれがマルクス主

シエンツォは、彼の国家理論を構成す
る上で不可欠なマルクスの諸理論に
ついて、その命題を「説明原理の不確定

8・15東京

「即位の礼・大嘗祭」反対!
四十五日の敗戦記念日。韓国との仲間は、改憲入憲法の六月一日

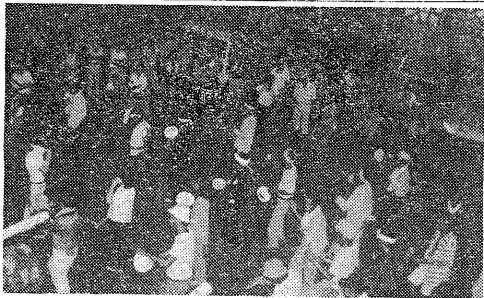
8・15京都

戦争責任曖昧化許さぬ
八月十五日、「8・15を問う」を問い続け
る京滋集が洛陽教会において開催

国場
盛大に夏祭り

全寄
今年の夏も、福岡・釜ヶ崎・笹島・寿・山谷等で労働者の夏
祭りが盛大に行われた。今秋「即

「特定」の諸情勢のもとでの「偶発的必
然」とその諸効果。情勢の決定要素と
の関連で説明するものと位置づけ、国



写真：釜ヶ崎